



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 キックマン株式会社  
 コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5521-5811

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	348,263	2.0	33,804	3.7	33,751	0.4	23,603	0.8
2020年3月期第3四半期	355,496	3.5	32,612	5.7	33,607	7.6	23,407	4.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 19,906百万円 (6.1%) 2020年3月期第3四半期 21,195百万円 (7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	122.95	
2020年3月期第3四半期	121.93	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	401,648	289,391	70.7
2020年3月期	387,329	277,757	70.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 284,008百万円 2020年3月期 272,434百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		21.00		21.00	42.00
2021年3月期		21.00			
2021年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	463,800	1.0	39,500	0.8	39,100	0.1	26,600	0.0	138.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	193,883,202 株	2020年3月期	193,883,202 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	1,910,870 株	2020年3月期	1,908,731 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	191,973,625 株	2020年3月期3Q	191,976,348 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第3四半期決算補足説明資料は、T Dnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、依然として厳しい状況にありました。

当社グループにおいても、各地域でその影響が生じました。当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、食品、飲料、酒類共に前年同期に及ばず、食料品製造・販売事業全体で前年同期を下回りました。海外については、食料品製造・販売事業は前年同期を上回ったものの、食料品卸売事業は前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

## &lt;連結業績&gt;

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2019年4月1日～ 2019年12月31日		2020年4月1日～ 2020年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	355,496	100.0	348,263	100.0	△7,233	98.0	—	△5,189	△2,043	99.4
営 業 利 益	32,612	9.2	33,804	9.7	1,191	103.7	0.5	△586	1,778	105.5
経 常 利 益	33,607	9.5	33,751	9.7	144	100.4	0.2	△552	696	102.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	23,407	6.6	23,603	6.8	196	100.8	0.2	△412	608	102.6
	USD	109.10	105.87		△3.23					
	EUR	121.46	122.30		0.84					

## &lt;報告セグメント&gt;

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2019年4月1日～ 2019年12月31日		2020年4月1日～ 2020年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	139,360	100.0	136,411	100.0	△2,949	97.9	—	—	△2,949	97.9
	営業利益	10,585	7.6	9,603	7.0	△982	90.7	△0.6	—	△982	90.7
国内 その他	売 上 高	16,056	100.0	15,980	100.0	△76	99.5	—	—	△76	99.5
	営業利益	1,373	8.6	1,307	8.2	△65	95.2	△0.4	—	△65	95.2
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	71,477	100.0	74,955	100.0	3,477	104.9	—	△1,675	5,153	107.2
	営業利益	14,669	20.5	16,120	21.5	1,451	109.9	1.0	△319	1,770	112.1
海外 食料品卸売	売 上 高	150,662	100.0	143,114	100.0	△7,547	95.0	—	△3,711	△3,836	97.5
	営業利益	6,946	4.6	7,476	5.2	529	107.6	0.6	△231	760	111.0
調整額	売 上 高	△22,060	100.0	△22,198	100.0	△137	—	—	197	△334	—
	営業利益	△963	—	△703	—	259	—	—	△35	295	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	355,496	100.0	348,263	100.0	△7,233	98.0	—	△5,189	△2,043	99.4
	営業利益	32,612	9.2	33,804	9.7	1,191	103.7	0.5	△586	1,778	105.5
	USD	109.10	105.87		△3.23						
	EUR	121.46	122.30		0.84						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

## 【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

### (国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

当四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内需要が増加し、外食産業が急速に冷え込んだために加工・業務用分野の需要が減少しました。

#### ■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、テレビ宣伝を中心とした商品の付加価値を伝えるマーケティング施策等により「いつでも新鮮」シリーズが更に売上を伸ばし、「特選丸大豆しょうゆ」などのペットボトル品も前年同期を上回りました。加工・業務用分野は、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

#### ■食品部門

つゆ類は、「濃いだし本つゆ」を中心に好調に推移したため、前年同期を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」シリーズが好調に推移したものの、加工・業務用分野が苦戦したことにより、前年同期を下回りました。「うちのごはん」は、前年同期を下回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が伸長したものの、加工・業務用分野が減少し、前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては、加工・業務用分野が前年同期を下回ったため、前年同期の売上を下回りました。

#### ■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に無調整豆乳が伸長し、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増え、また家庭内需要の増加により1L容器を中心として売上が伸び、前年同期の売上を上回りました。デルモンテ飲料は、野菜ジュースが堅調に推移したものの、トマトジュース、果汁飲料が振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

#### ■酒類部門

本みりんは、家庭内需要の増加もあり、家庭用分野では、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」や「濃厚熟成本みりん」などが売上を伸ばしましたが、加工・業務用分野で大型容器が減少したため前年同期を下回りました。ワインは、ホテル・レストラン需要の減少により加工・業務用分野が前年同期を下回り、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は1,364億1千1百万円（前年同期比97.9%）、営業利益は96億3百万円（前年同期比90.7%）と減収減益となりました。

### (国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

化成品等は、臨床診断薬は前年同期を下回ったものの、衛生検査薬が伸長し、前年同期の売上を上回りました。運送事業は前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は159億8千万円（前年同期比99.5%）、営業利益は13億7百万円（前年同期比95.2%）と、減収減益となりました。

## 【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

家庭用分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭内需要が増加しました。一方で業務用分野では、外食産業が急速に冷え込み、業務用需要が減少しました。

## (海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

## ■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用を中心に主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。この結果、全体としては前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるイギリス、ドイツなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年同期の売上を下回りました。一方で、東南アジア・オーストラリアでは現地通貨ベースでは売上を伸ばしましたが、全体として前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

## ■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

部門全体では前年同期の売上を上回りました。

## ■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

部門全体では現地通貨ベースで前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は7 4 9億5千5百万円（前年同期比104.9%）、営業利益は1 6 1億2千万円（前年同期比109.9%）と、増収増益となりました。

## (海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、外出自粛等により外食産業全体の減少が大きく、前年同期を下回りました。

また、欧州も同様の理由により前年同期を下回りました。

アジア・オセアニアは、第2四半期より台湾のグループ会社を新規で連結対象としたこともあり、前年同期を上回りました。この結果、卸売事業全体では、前年同期の売上を下回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は1, 4 3 1億1千4百万円（前年同期比95.0%）、営業利益は7 4億7千6百万円（前年同期比107.6%）と、減収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は3, 4 8 2億6千3百万円（前年同期比98.0%）、営業利益は3 3 8億4百万円（前年同期比103.7%）、経常利益は3 3 7億5千1百万円（前年同期比100.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2 3 6億3百万円（前年同期比100.8%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,778億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ183億3千5百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は、2,237億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億1千6百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)、建物及び構築物(純額)、リース資産(純額)が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,016億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ143億1千9百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、676億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億5千1百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は、446億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億6千6百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債、リース債務が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は、1,122億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千5百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,893億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億3千4百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.7%(前連結会計年度末は70.3%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の2021年3月期第2四半期決算短信(2020年11月5日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(2020年6月23日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,088	45,795
受取手形及び売掛金	61,145	64,574
有価証券	—	193
商品及び製品	43,255	42,274
仕掛品	11,798	11,331
原材料及び貯蔵品	5,901	5,878
その他	8,543	8,819
貸倒引当金	△1,192	△992
流動資産合計	159,540	177,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,200	53,893
機械装置及び運搬具(純額)	44,751	42,713
土地	20,900	20,669
リース資産(純額)	15,841	14,625
建設仮勘定	7,705	9,325
その他(純額)	4,669	4,305
有形固定資産合計	149,067	145,533
無形固定資産		
のれん	4,164	3,725
その他	5,004	4,843
無形固定資産合計	9,168	8,569
投資その他の資産		
投資有価証券	57,672	57,142
長期貸付金	1,881	1,923
退職給付に係る資産	4,934	6,063
繰延税金資産	3,416	3,516
その他	3,799	3,207
貸倒引当金	△2,153	△2,184
投資その他の資産合計	69,552	69,670
固定資産合計	227,788	223,772
資産合計	387,329	401,648



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,414	22,940
短期借入金	5,311	11,422
リース債務	2,437	2,462
未払金	19,249	16,221
未払法人税等	3,297	4,567
賞与引当金	2,662	980
役員賞与引当金	129	90
その他	5,288	8,956
流動負債合計	61,791	67,642
固定負債		
長期借入金	13,602	13,400
リース債務	13,997	13,138
繰延税金負債	6,847	6,542
役員退職慰労引当金	732	702
環境対策引当金	31	3
退職給付に係る負債	7,243	5,524
その他	5,326	5,303
固定負債合計	47,780	44,614
負債合計	109,571	112,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,695
利益剰余金	244,044	259,582
自己株式	△3,641	△3,654
株主資本合計	265,697	281,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,012	12,943
繰延ヘッジ損益	△0	△4
為替換算調整勘定	△4,376	△8,828
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△1,325
その他の包括利益累計額合計	6,736	2,784
非支配株主持分	5,322	5,383
純資産合計	277,757	289,391
負債純資産合計	387,329	401,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	355,496	348,263
売上原価	216,478	210,363
売上総利益	139,018	137,900
販売費及び一般管理費	106,406	104,095
営業利益	32,612	33,804
営業外収益		
受取利息	199	115
受取配当金	914	941
持分法による投資利益	225	188
受取賃貸料	532	550
為替差益	874	2,662
デリバティブ評価益	765	37
その他	1,359	1,375
営業外収益合計	4,870	5,871
営業外費用		
支払利息	371	379
為替差損	127	173
デリバティブ評価損	20	1,544
その他	3,356	3,826
営業外費用合計	3,876	5,924
経常利益	33,607	33,751
特別利益		
有形固定資産売却益	15	51
投資有価証券売却益	148	836
特別利益合計	164	887
特別損失		
固定資産減損損失	—	1,170
固定資産除却損	638	35
投資有価証券評価損	20	22
ゴルフ会員権評価損	16	—
特別損失合計	675	1,228
税金等調整前四半期純利益	33,095	33,410
法人税等	9,331	9,430
四半期純利益	23,764	23,980
非支配株主に帰属する四半期純利益	357	376
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,407	23,603

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	23,764	23,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	△1,140
繰延ヘッジ損益	11	△3
為替換算調整勘定	△2,373	△4,570
退職給付に係る調整額	△116	1,582
持分法適用会社に対する持分相当額	41	58
その他の包括利益合計	△2,569	△4,073
四半期包括利益	21,195	19,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,941	19,657
非支配株主に係る四半期包括利益	254	248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	137,714	5,231	62,222	150,328	355,496	—	355,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,646	10,825	9,254	334	22,060	△22,060	—
計	139,360	16,056	71,477	150,662	377,557	△22,060	355,496
セグメント利益	10,585	1,373	14,669	6,946	33,575	△963	32,612

- (注) 1. セグメント利益の調整額△963百万円は、主に全社費用配賦差額であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	134,244	5,518	65,736	142,764	348,263	—	348,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,167	10,462	9,219	349	22,198	△22,198	—
計	136,411	15,980	74,955	143,114	370,461	△22,198	348,263
セグメント利益	9,603	1,307	16,120	7,476	34,507	△703	33,804

- (注) 1. セグメント利益の調整額△703百万円は、主に全社費用配賦差額であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。